

No.	令和6年度事業計画 〔具体的な事業計画(目標)〕	計画の達成度				目標達成に向けての課題等
		順調	ほぼ順調である	やや遅れている	遅れている	
1	「経営の安定化を図る」				○	・令和6年度は法人全体で約9億円と今までにない大きなマイナス決算となり、2年続いたのマイナス決算となった。令和6年度の事業計画の「経営の安定化を図る」とはならなかった。令和6年度のマイナスの大きな原因としては、 ①施設の建物の完成後は休床病棟の稼働延期による稼働率が低下したため。 ②施設の建て替えを行ったことで廃棄損が計上された。 ③物価高騰による水道光熱費他の値上がりしたこと。 ④人材不足 ⑤クラスター発生により制限による稼働率低下 ⑥診療単価の落ち込み ⑦医療機器の入替 ⑧建物の建て替えによる租税公課の増加 が施設経営に大きな影響を及ぼした。今後は法人全体で安定した稼働率の維持をしていくために令和7年度から職員全体で経営努力をしていかなければならないと考えています。
	①安定した収入の確保(各施設の目標及び確実な計画の実行)				○	・令和5年度、令和6年度とマイナス決算となり、6年度は非常に大きなマイナス計上となっている。令和6年度では原因の一つとして休床病棟の稼働延期で稼働低下により安定した収入の確保ができなかった。又、人材不足、継続的な物価高騰で経費増となり、マイナス計上となってしまった。令和7年度において該当施設はだけではなく法人全体として安定した稼働率の維持が必要となります。施設の目標及び計画を実行して安定した収入を確保していきたいと考えます。
	②人材確保				○	・多くの施設では、人材不足が恒常的に発生しており、入院制限を行ったり施設経営を圧迫している。今後は、信頼される施設を目指して、より良い人材を確保していきたい。
	③関係施設間の連携強化及び情報収集		○			・神栖支部・東村山支部での管理者等の支部会をほぼ毎月行っており、積極的に支部会で情報収集等を実施している。情報収集等を行って経営につながるような連携強化を図っている。さらに地域社会に信頼される法人・施設を目標としています。
	④施設と支部会との連携		○			・ほぼ毎月各支部とも施設の報告や問題点等を話し合っている。定期的に開催することにより各施設の連携を図っている。信頼される施設をめざして、行政や地域と連携協力していきたい。
	⑤経費節減			○		・経費節減は、数年前から水道光熱費等の高騰により経費が増加している。このまま物価高騰は続いていくことが予想されます。全施設において、さらに積極的に経費削減に取り組んでいかなければならないと考えています。
2	「地域のニーズに応えるために」		○			・白十字会が目指している安心・安全に提供できる福祉・医療サービス等を行うために、行政や地域の協議会等と協力し、地域社会に貢献していきたい。さらに社会福祉法人としての責任を果たすべく地域のニーズに応えられるように努力していきます。
	①専門性を生かし安全で安心できる施設づくり		○			・地域から信頼される安心・安全な施設をめざすために福祉・医療サービスのニーズに応じて地域と連携を図り、信頼される施設を目指していきます。
	②地域における公益的取組を実施する責務		○			・社会福祉法人としての責任を果たすべく、地域のニーズに応えられるように努力しています。現在、福祉・医療のニーズが高まる中、福祉・医療サービス等を安心・安全に提供できるようにしていきます。さらに多くの施設が地域における公益的取組を実施していかなければならない。
	③地域住民、関係機関との連携強化		○			・福祉施設等は災害時の地域の要援護者支援で大きな役割が求められています。災害発生時等で行政や関係機関と地域との役割を分担して対応していき、一部の施設は地域の避難所として支援し、関係機関と連携しながら地域住民の支援を行っていかなければならないと考えています。
	④障害者雇用の実行			○		令和7年3月末現在の障害者雇用不足数は7名となっていますが、カウントできる特定短時間障害者数が増えたことや現在雇用に向けて努力している。